

役者評判記

千13
3849
65





千 13
3849
65

彼短

千 13
256
119

役者弓初上

役者弓心然中

役者弓初下





從者^{しやくしや}手^て初^{はつめ}

養^{やう}不^ふ定^{てい}

○ 目錄

何^{なに}役^{やく}と^とも

紙^{かみ}矣^やあ^あ

的^{てき}を^を之^し川^{がわ}

大^{おほ}立^た者^{もの}

射^いと^とん

潤^{うる}

潤^{うる}ま^まぐ

凡^{ひん}も^も豆^{まめ}ぬ

見^み物^{もの}乃^{なり}大^{おほ}入^{いり}

申あきらふ

新あらたねあらたの

評ひやう判はんの

智ちのあや無なり

あありありあり

書ひくふ

よやりや役やく者しやの

鳴なるりなる

焼やくつやくぐやく

ややりやりや

見み負おせおしおるる

京きやう大だい坂ばん三さん段だん形かたち物もの役やく者しや目め録ろく

東とう山さん川かわ 飛と鳥ちう 赤せき松しょう 社しゃ卒そつ共きやう書しよのの役やく者しや

不ふ念ねん止し美み

平へい井せい 平へい井せい 平へい井せい 平へい井せい

● 元もと之の正ただ正ただ物もの役やく者しやのの目め録ろく

極ごく上じやう上じやう吉きち

市いち川かわ 岡おか 岡おか 岡おか

▲ 立た役やくのの部ぶ

極ごく上じやう上じやう吉きち

市いち川かわ 岡おか 岡おか 岡おか

上じやう上じやう吉きち

市いち川かわ 岡おか 岡おか 岡おか

上じやう上じやう吉きち

市いち川かわ 岡おか 岡おか 岡おか

上じやう上じやう吉きち

市いち川かわ 岡おか 岡おか 岡おか

何なにれれととももああららわわららせせらられれててももよよううななりり

上上吉

中山公常 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

この市の役はつゝいふ

四方多ううといふと評判と

色はの級はういやうい

ちかぢとせせていふ

折くは系は金の形と

改変よむのこの風が

いんく表のういふ

池がたても市おまの

そんくといふ

上上吉

関三平 口元

上上吉

市川團三 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

上上吉

尾上朝七 口元

上上吉

市川團三 口元

いづれも仕内いふ

あつねをいふ

味いふ

味いふ

味いふ

味いふ

味いふ

上上吉 三柳松常 しらゆふいづこぬ ちいさ

上上吉 うまがまれたの松村の松 柳井園常 柳井園常 柳井

上上二 柳井園常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 辰切の松 淡尾友常 淡尾友常 淡尾

上上 虎の身 淡尾友常 淡尾友常 淡尾

上上 淡尾友常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上吉 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上 柳村元常の松 柳村元常 柳村元常 柳村

上上吉 養川友春 姉川元

上上吉 松本よし三 松本元

上上吉 伴山一徳 伴山元

上上吉 可抵子 可抵元

上上吉 中村宗幸 中村元

上上吉 芳法園翁 芳法元

上上吉 伴村の一 伴村元

上上吉 姉川徳隆 姉川元

上上吉 市川園之 市川元

上上 沢村宗幸 沢村元

上上 養川徳隆 養川元

上上 豊後宗幸 豊後元

上上 三井大次郎 三井元

上上 小浜川ね三 小浜元

上上 山中徳隆 山中元

上上 山中徳隆 山中元

上上吉 三井徳隆 三井元

上上吉 芳法宗幸 芳法元

上上吉 芳法宗幸 芳法元

▲ 美濃新く部

上上

万田巻

小粒でもよくて

上上

沢村四代

刃さけり

上上

嵐三巻

子流り

上

大谷流

公考

上

中山流

中交り

▲ 吾妻新く部

一

沢村田

一

山下巻

一

嵐六巻

一

沢尾巻

一

中村巻

一

嵐六巻

嵐三巻

一 沢尾巻

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 中村巻

▲ 師川巻

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一

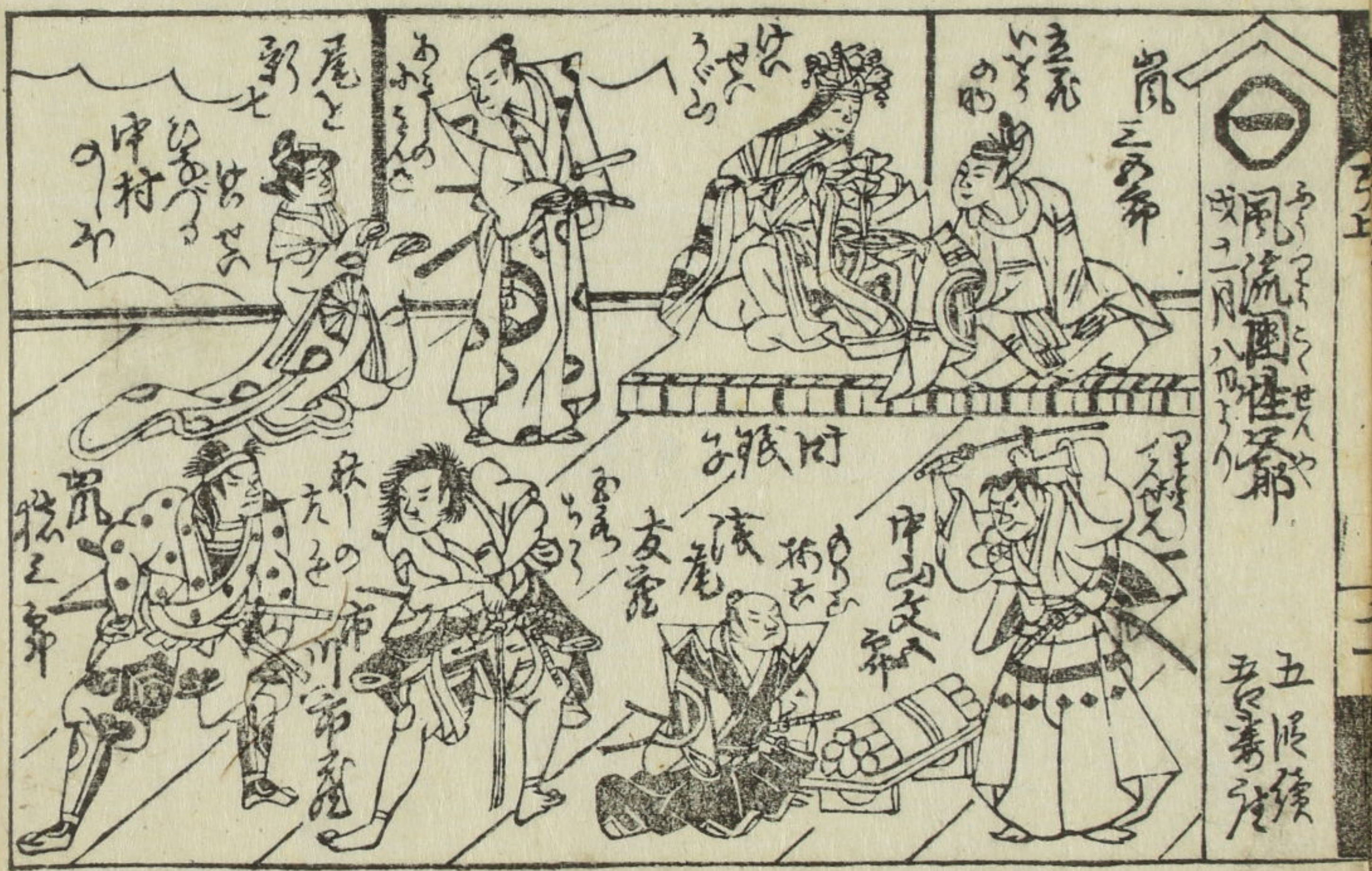
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

撰上吉

▲ 巻巻軸

▲ 沢村巻

● 附録



五服續
 五服續


あつちのあつち **三** けしんあつちのあつち
こいあつちのあつち **四** 出まあつちのあつち
あつちのあつち **五** あつちのあつち
あつちのあつち **六** あつちのあつち
あつちのあつち **七** あつちのあつち
あつちのあつち **八** あつちのあつち
あつちのあつち **九** あつちのあつち
あつちのあつち **十** あつちのあつち
あつちのあつち **十一** あつちのあつち
あつちのあつち **十二** あつちのあつち
あつちのあつち **十三** あつちのあつち
あつちのあつち **十四** あつちのあつち
あつちのあつち **十五** あつちのあつち
あつちのあつち **十六** あつちのあつち
あつちのあつち **十七** あつちのあつち
あつちのあつち **十八** あつちのあつち
あつちのあつち **十九** あつちのあつち
あつちのあつち **二十** あつちのあつち

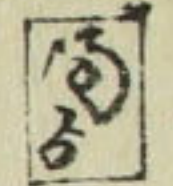


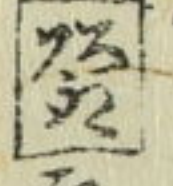
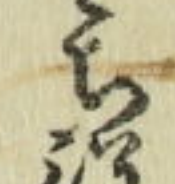
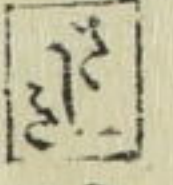
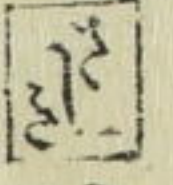


あつちのあつち **二十一** あつちのあつち
あつちのあつち **二十二** あつちのあつち
あつちのあつち **二十三** あつちのあつち
あつちのあつち **二十四** あつちのあつち
あつちのあつち **二十五** あつちのあつち
あつちのあつち **二十六** あつちのあつち
あつちのあつち **二十七** あつちのあつち
あつちのあつち **二十八** あつちのあつち
あつちのあつち **二十九** あつちのあつち
あつちのあつち **三十** あつちのあつち




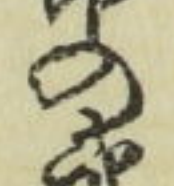
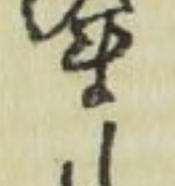
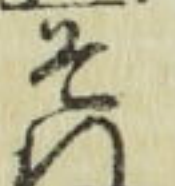
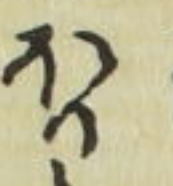
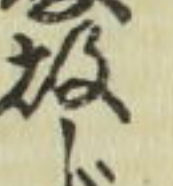
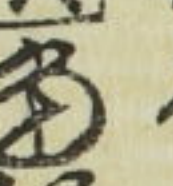
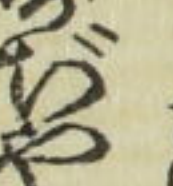
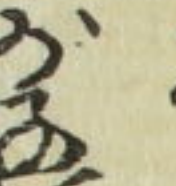
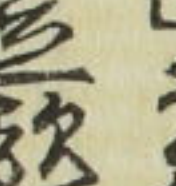



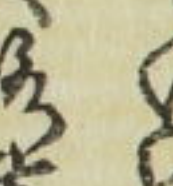

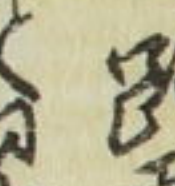
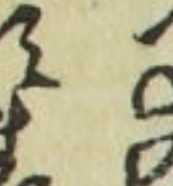
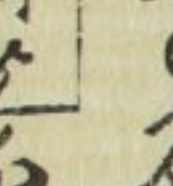

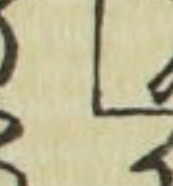
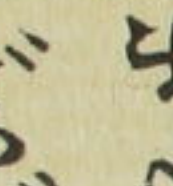

上上吉 **三** 月三ノ日 吉

あつちのあつち **三十一** あつちのあつち
あつちのあつち **三十二** あつちのあつち
あつちのあつち **三十三** あつちのあつち
あつちのあつち **三十四** あつちのあつち
あつちのあつち **三十五** あつちのあつち
あつちのあつち **三十六** あつちのあつち
あつちのあつち **三十七** あつちのあつち
あつちのあつち **三十八** あつちのあつち
あつちのあつち **三十九** あつちのあつち
あつちのあつち **四十** あつちのあつち
あつちのあつち **四十一** あつちのあつち
あつちのあつち **四十二** あつちのあつち
あつちのあつち **四十三** あつちのあつち
あつちのあつち **四十四** あつちのあつち
あつちのあつち **四十五** あつちのあつち
あつちのあつち **四十六** あつちのあつち
あつちのあつち **四十七** あつちのあつち
あつちのあつち **四十八** あつちのあつち
あつちのあつち **四十九** あつちのあつち
あつちのあつち **五十** あつちのあつち

あつたつから位まで申すに相違なく
unpublished version of the manuscript
の取扱いをいふべきなり

上上士  中山忠孝命 御定

 重信のしるしをうけつるを
百九つとせらるるをいふ  御定令のしるし
南無と申す御定も相違なく  御定令のしるし
源氏といふが本のおぼしめは海軍といふ
と二度と入るる切後してさういふまじ
といふ  御定令も御定令のしるし
よく次のしるしをうけつるをいふ  御定令
よりいふ  御定令といふまじり
は  御定令といふまじり
の取扱いをいふべきなり  御定令
か  御定令

あつたつから位まで申すに相違なく
の取扱いをいふべきなり  御定令
の取扱いをいふべきなり  御定令
う  御定令  御定令
か  御定令  御定令
わ  御定令  御定令
ぞ  御定令  御定令
か  御定令  御定令
あ  御定令  御定令
あ  御定令  御定令
あ  御定令  御定令
あ  御定令  御定令
あ  御定令  御定令
あ  御定令  御定令

上上言  後川八義 御定

上上 嵐猪三糸 吉野丸

西月丸を符ふるう敷付親家様よ
う解してよろやくよあせすうを

何々 出精袋でふくむねまきでさこー
物いり 三浦麻原氏の上原八幡さま

くしてよろやく 物々 吉野丸のりねも出
まきでく 三浦麻原氏の上原八幡さま

必ま死へさうの物め指紋袋と赤い物
木の葉の葉はなまきあめいりの中

大まのとおほいさくともち力おのり
そく二股男泥うをその合まおのり

とまはまいりてお役もあけさく大役とゆ
まそく 三浦麻原氏の上原八幡さま

上上 三村大糸 姉川丸
三村大糸の糸はなまきあめいり

西月丸大糸の糸はなまきあめいり
三浦麻原氏の上原八幡さま

三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

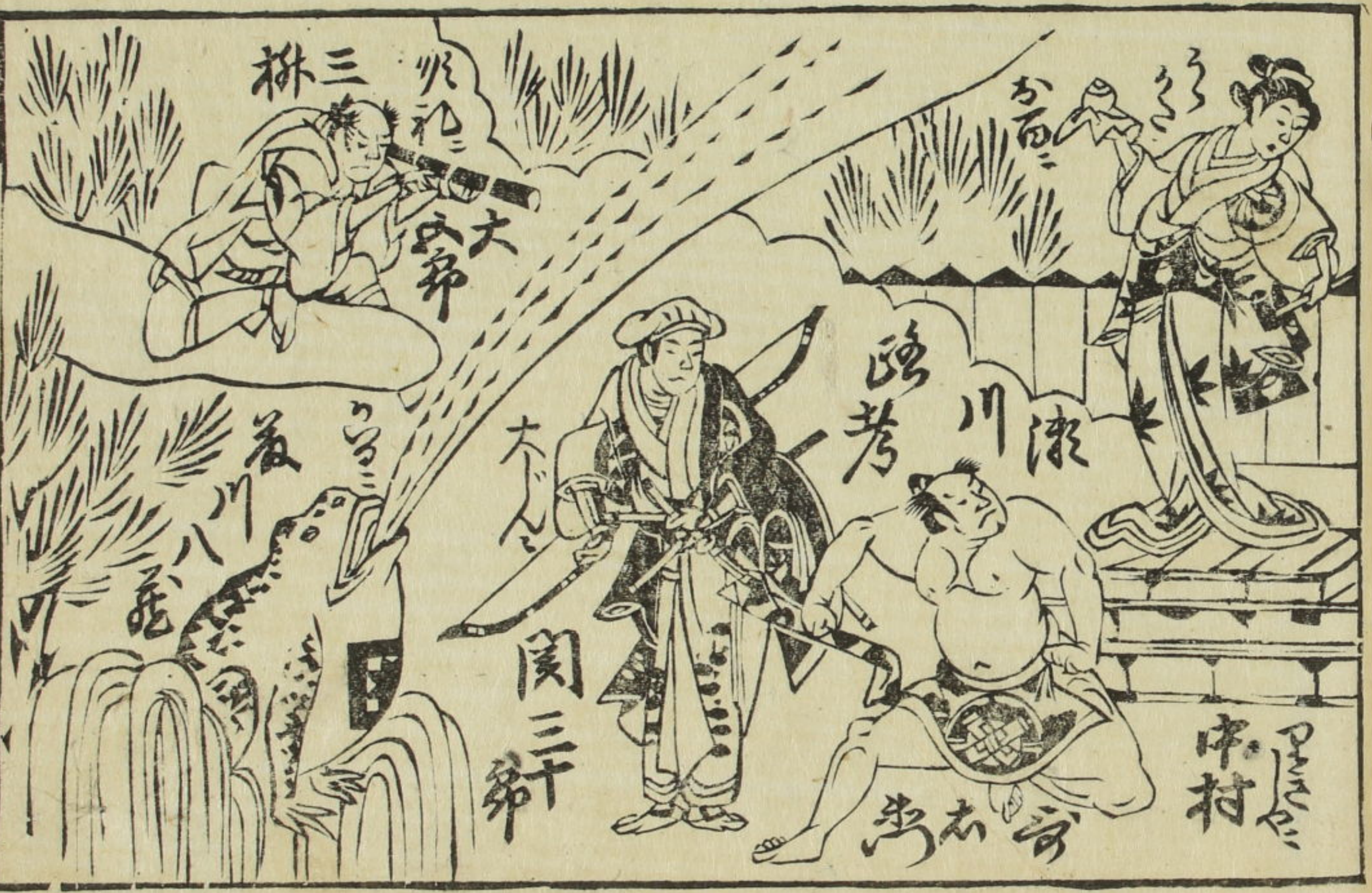
三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

上上 三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま

三浦麻原氏の上原八幡さま
三浦麻原氏の上原八幡さま



東金州浪花着綿
 三軒
 若川
 友太
 お仁
 中山
 大谷
 友太
 お仁
 小糸
 三木
 大糸
 お百
 中村
 安太

西のちうめん大ひのくわんしんぞう[發結]
本領用の方か、後徳吉の御殿のあま
る物ぢうしよ二夜に御座りし(御座りし)
風のなきく、唐のうばを申わのせれく
るしんぢうぢうしんしんしんしんしんしん
よめし二夜に一しんしんしんしんしんしん
て[發結]まゆあけしんしんしんしんしん
まゆあけしんしんしんしんしんしんしん
しんしんしんしんしんしんしんしんしん
あめりしんしんしんしんしんしんしんしん
しんしんしんしんしんしんしんしんしん
のひしんしんしんしんしんしんしんしん
るんぢうしんしんしんしんしんしんしん
二夜にしんしんしんしんしんしんしん

のりあけしんしんしんしんしんしんしんしん
しんしんしんしんしんしんしんしんしん
あめりしんしんしんしんしんしんしんしん
しんしんしんしんしんしんしんしんしん
のひしんしんしんしんしんしんしんしん
るんぢうしんしんしんしんしんしんしん
二夜にしんしんしんしんしんしんしん

上上書  三棟松次第

あめりしんしんしんしんしんしんしんしん
しんしんしんしんしんしんしんしんしん
のひしんしんしんしんしんしんしんしん
るんぢうしんしんしんしんしんしんしん
二夜にしんしんしんしんしんしんしん
あめりしんしんしんしんしんしんしんしん
しんしんしんしんしんしんしんしんしん
のひしんしんしんしんしんしんしんしん
るんぢうしんしんしんしんしんしんしん
二夜にしんしんしんしんしんしんしん

かきもは内かき...
くまの^①坂本玉蔵...
堀江^②...
堀江^③...

^上吉 ^④ 山村^⑤...

二夜^⑥...
入^⑦...
二夜^⑧...

色^⑨...
色^⑩...
色^⑪...

色^⑫...
色^⑬...
色^⑭...

▲ 老幼入部

上上 ^⑮...
上上 ^⑯...
上上 ^⑰...

上上 ^⑱...
上上 ^⑲...
上上 ^⑳...

ふいふのまへに昔は海に舟をいれりしは
人ぞあまへ **四** 七はうのちのちのち
こそ揚柳のうらみはうらみ **五** の二級
なまへ **六** のうらみ **七** 半 **八** ね **九** **十**
ふいふのまへに昔は海に舟をいれりしは
人ぞあまへ **四** 七はうのちのちのち
こそ揚柳のうらみはうらみ **五** の二級
なまへ **六** のうらみ **七** 半 **八** ね **九** **十**

海に舟をいれりしは **一** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **二** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **三** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **四** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **五** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **六** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **七** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **八** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **九** 舟をいれりしは
舟をいれりしは **十** 舟をいれりしは

いふに^一此の^二書は^三神代卷の^四末に^五あり^六と^七いふ^八なり^九と^{一〇}いふ^{一一}なり^{一二}と^{一三}いふ^{一四}なり^{一五}と^{一六}いふ^{一七}なり^{一八}と^{一九}いふ^{二〇}なり^{二一}と^{二二}いふ^{二三}なり^{二四}と^{二五}いふ^{二六}なり^{二七}と^{二八}いふ^{二九}なり^{三〇}と^{三一}いふ^{三二}なり^{三三}と^{三四}いふ^{三五}なり^{三六}と^{三七}いふ^{三八}なり^{三九}と^{四〇}いふ^{四一}なり^{四二}と^{四三}いふ^{四四}なり^{四五}と^{四六}いふ^{四七}なり^{四八}と^{四九}いふ^{五〇}なり^{五一}と^{五二}いふ^{五三}なり^{五四}と^{五五}いふ^{五六}なり^{五七}と^{五八}いふ^{五九}なり^{六〇}と^{六一}いふ^{六二}なり^{六三}と^{六四}いふ^{六五}なり^{六六}と^{六七}いふ^{六八}なり^{六九}と^{七〇}いふ^{七一}なり^{七二}と^{七三}いふ^{七四}なり^{七五}と^{七六}いふ^{七七}なり^{七八}と^{七九}いふ^{八〇}なり^{八一}と^{八二}いふ^{八三}なり^{八四}と^{八五}いふ^{八六}なり^{八七}と^{八八}いふ^{八九}なり^{九〇}と^{九一}いふ^{九二}なり^{九三}と^{九四}いふ^{九五}なり^{九五}と^{九六}いふ^{九七}なり^{九八}と^{九九}いふ^{一〇〇}なり

上上可  中上 一決 事

いふに^一此の^二書は^三神代卷の^四末に^五あり^六と^七いふ^八なり^九と^{一〇}いふ^{一一}なり^{一二}と^{一三}いふ^{一四}なり^{一五}と^{一六}いふ^{一七}なり^{一八}と^{一九}いふ^{二〇}なり^{二一}と^{二二}いふ^{二三}なり^{二四}と^{二五}いふ^{二六}なり^{二七}と^{二八}いふ^{二九}なり^{二九}と^{三〇}いふ^{三一}なり^{三一}と^{三二}いふ^{三二}なり^{三三}と^{三四}いふ^{三四}なり^{三五}と^{三五}いふ^{三五}なり^{三六}と^{三六}いふ^{三六}なり^{三七}と^{三七}いふ^{三七}なり^{三八}と^{三八}いふ^{三八}なり^{三九}と^{三九}いふ^{三九}なり^{四〇}と^{四〇}いふ^{四〇}なり^{四一}と^{四一}いふ^{四一}なり^{四二}と^{四二}いふ^{四二}なり^{四三}と^{四三}いふ^{四三}なり^{四四}と^{四四}いふ^{四四}なり^{四五}と^{四五}いふ^{四五}なり^{四六}と^{四六}いふ^{四六}なり^{四七}と^{四七}いふ^{四七}なり^{四八}と^{四八}いふ^{四八}なり^{四九}と^{四九}いふ^{四九}なり^{五〇}と^{五〇}いふ^{五〇}なり^{五一}と^{五一}いふ^{五一}なり^{五二}と^{五二}いふ^{五二}なり^{五三}と^{五三}いふ^{五三}なり^{五四}と^{五四}いふ^{五四}なり^{五五}と^{五五}いふ^{五五}なり^{五六}と^{五六}いふ^{五六}なり^{五七}と^{五七}いふ^{五七}なり^{五八}と^{五八}いふ^{五八}なり^{五九}と^{五九}いふ^{五九}なり^{六〇}と^{六〇}いふ^{六〇}なり^{六一}と^{六一}いふ^{六一}なり^{六二}と^{六二}いふ^{六二}なり^{六三}と^{六三}いふ^{六三}なり^{六四}と^{六四}いふ^{六四}なり^{六五}と^{六五}いふ^{六五}なり^{六六}と^{六六}いふ^{六六}なり^{六七}と^{六七}いふ^{六七}なり^{六八}と^{六八}いふ^{六八}なり^{六九}と^{六九}いふ^{六九}なり^{七〇}と^{七〇}いふ^{七〇}なり^{七一}と^{七一}いふ^{七一}なり^{七二}と^{七二}いふ^{七二}なり^{七三}と^{七三}いふ^{七三}なり^{七四}と^{七四}いふ^{七四}なり^{七五}と^{七五}いふ^{七五}なり^{七六}と^{七六}いふ^{七六}なり^{七七}と^{七七}いふ^{七七}なり^{七八}と^{七八}いふ^{七八}なり^{七九}と^{七九}いふ^{七九}なり^{八〇}と^{八〇}いふ^{八〇}なり^{八一}と^{八一}いふ^{八一}なり^{八二}と^{八二}いふ^{八二}なり^{八三}と^{八三}いふ^{八三}なり^{八四}と^{八四}いふ^{八四}なり^{八五}と^{八五}いふ^{八五}なり^{八六}と^{八六}いふ^{八六}なり^{八七}と^{八七}いふ^{八七}なり^{八八}と^{八八}いふ^{八八}なり^{八九}と^{八九}いふ^{八九}なり^{九〇}と^{九〇}いふ^{九〇}なり^{九一}と^{九一}いふ^{九一}なり^{九二}と^{九二}いふ^{九二}なり^{九三}と^{九三}いふ^{九三}なり^{九四}と^{九四}いふ^{九四}なり^{九五}と^{九五}いふ^{九五}なり^{九六}と^{九六}いふ^{九六}なり^{九七}と^{九七}いふ^{九七}なり^{九八}と^{九八}いふ^{九八}なり^{九九}と^{九九}いふ^{九九}なり^{一〇〇}と^{一〇〇}いふ^{一〇〇}なり

後徳入の辰申能の申しにた乃後ちの元
ちなるのそごうやう〔方〕臨本末は能
かたむのちのそと能能の入の場や能
かたむのちのそと能能の入の場や能
せにひかむのちのそと能能の入の場や能
と能能の元の初めたるにたのいひ能能
能の能能のいと能の折能は男能の元
まう能能の能の能の能の能の能の能
うの能の能の能の能の能の能の能
の能の能の能の能の能の能の能
るして能能の〔方〕能の能の能の能
る能能の能の能の能の能の能の能
るの能の能の能の能の能の能の能
とるの能の能の能の能の能の能の能

上上士



中村余太郎

姉兄

〔方〕能の能の能の能の能の能の能

うまの能の能の能の能の能の能の能
よかひ能の能の能の能の能の能の能
中能能能能能の能の能の能の能の能
の能の能の能の能の能の能の能の能
の能の能の能の能の能の能の能の能
の能の能の能の能の能の能の能の能
申の能の能の能の能の能の能の能の能
の能の能の能の能の能の能の能の能


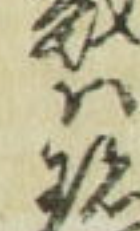


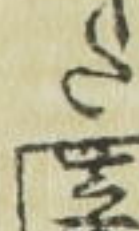

上上



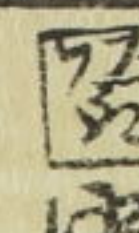



芳法園次郎

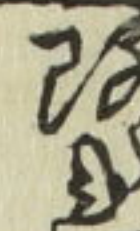
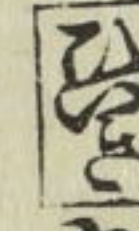
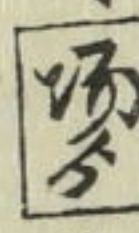
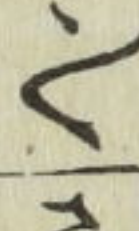
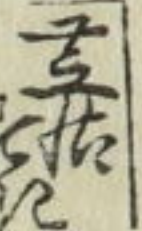
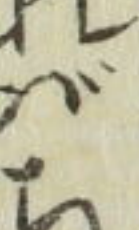
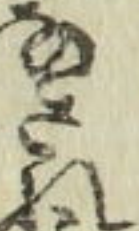
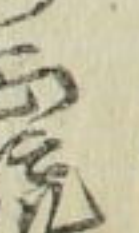
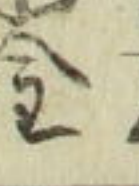
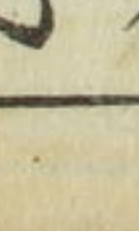

姉兄

〔方〕能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能
能の能の能の能の能の能の能の能

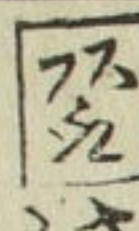
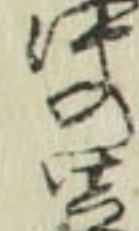
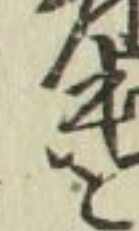
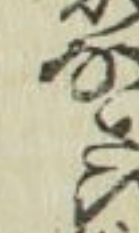
よるて毛  さいさいの次やま
将の國是者いすふおまのいさか
はまのちたお勤いれき  中
りまでもやのいもあまのいもあ
あへんまのいもあへんまのいもあ
いもあへんまのいもあ  中
あへんまのいもあ  中
いもあへんまのいもあ  中
あへんまのいもあ  中

上上  中村のいね 書

 中村今書  中村のいね
改定  中村のいね
石橋のいね  中村のいね

改定  中村のいね
あへんまのいもあ  中
いもあへんまのいもあ  中
あへんまのいもあ  中
いもあへんまのいもあ  中
あへんまのいもあ  中
いもあへんまのいもあ  中
あへんまのいもあ  中
いもあへんまのいもあ  中
あへんまのいもあ  中
いもあへんまのいもあ  中

上上  中村のいね 書

 中村今書  中村のいね
改定  中村のいね
石橋のいね  中村のいね

一 〇一廿一やとやとや
 一 京周備軍師中元月十五日より
 十日のち等々とまはれぬりあるは
 ここの事らんがうはやくしに別後
 ころとに後ふ入をと

〇一廿一やとやとや
 一 京周備軍師中元月十五日より
 十日のち等々とまはれぬりあるは
 ここの事らんがうはやくしに別後
 ころとに後ふ入をと

▲ 役人留名の次第

- 一 〇一廿一やとやとや
- 一 一谷嫩軍記 二辰月三辰月
- 一 熊谷次希 序園仁左衛門
- 一 山口重三郎 山下八百屋
- 一 ふトの方 三井徳次郎
- 一 五よりひめ 中村孝次郎
- 一 あつこり 序園三右衛門
- 一 坂小丸丸 三井大次郎
- 一 ややととと 序園松助
- 一 山崎武吉 序園松助
- 一 序 序園松助
- 一 子 序園十右衛門

享和三年 他者 自笑
 美山月言曰

入交字卷八巻の板

上上

魚菜之類

中村八右衛門

極上

之類

坂本重太郎

大上

中村伴右衛門

全上

市川甚之助

上上

谷村権八

上上

三村重太郎

上上

岩川秀重

上上

中山末吉

上上

山下相徳

上上

嵐野三郎

上上

上上

實惠之類

谷村文次郎

上上

上上

實惠之類

拓井森彦

上上

上上

實惠之類

中山久吉

上上

上上

上上

松橋清彦

堀江

市川甚之助

谷村権八

三村重太郎

岩川秀重

中山末吉

山下相徳

下十七

上上
上上
上上

▲ 養女形之部

市川辰彦	堀江
市川口彦	堀江
泉川半彦	大西
中村孝彦	竹田
中村の房	大西
嵐園市	大西
芳沢嘉彦	竹田
柳山籠彦	竹田
柳山徳彦	堀江
百村清彦	大西
後川飛彦	竹田
中村君彦	堀江
芳沢挺彦	竹田
山下養彦	大西
荒木与彦	大西
柳山小彦	堀江

上上
上上
上上
上上
上上
上上
上上
上上
上上

▲ 子役之部

萩野彦彦	竹田
谷村彦彦	大西
市川養之三	堀江
中村祐彦	堀江
芳沢純彦	竹田
山下全彦	竹田
柳山三彦	堀江
中村徳三彦	竹田
市川三彦	大西
嵐園彦彦	堀江

▲ 惣巻心油

百村友彦	大西
山下彦彦	大西



